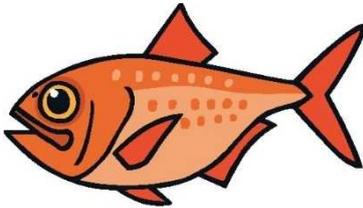


# キンメダイ



- ・ 海山等の海底付近に生息し、銚子沖、勝浦沖、東京湾口漁場で立縄（釣り）により漁獲される。
- ・ 成長は遅く、満 2 歳で漁獲可能な尾叉長 19cm に達した後、4 歳で 27cm、6 歳で 31cm、8 歳で 34cm、10 歳で 35cm に達する。
- ・ 産卵期は 6～8 月。

## 資源評価

水準：低位

銚子沖：  
勝浦沖：  
東京湾口：



動向：

銚子沖：減少



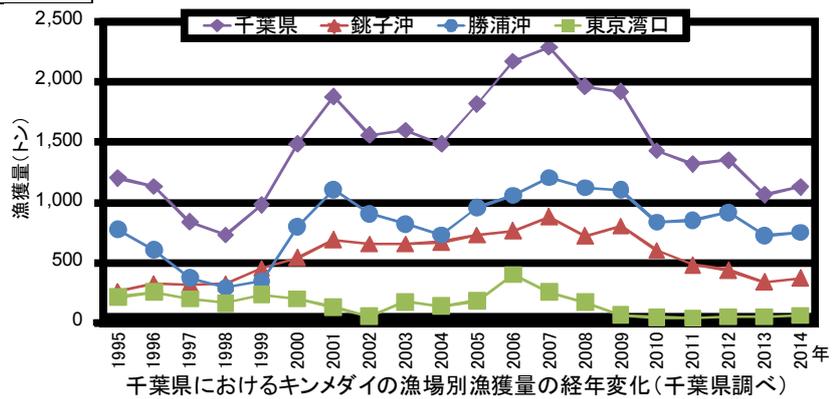
勝浦沖：横ばい



東京湾口：増加\*



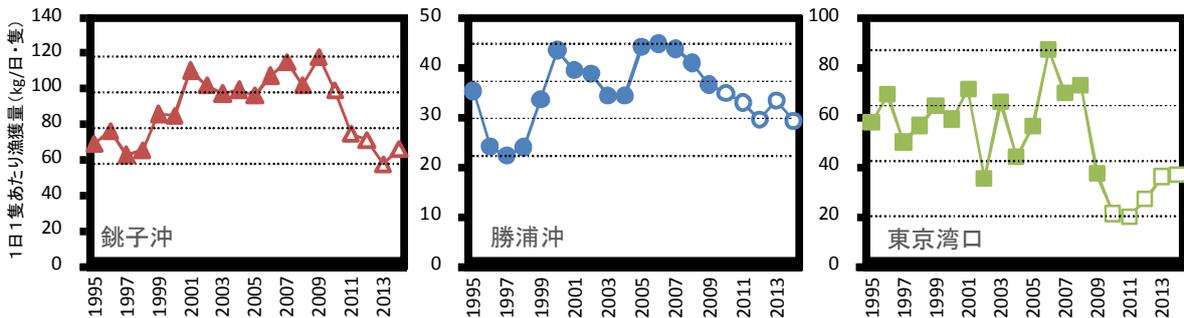
## 漁獲量



- ・ 千葉県全体の漁獲量は 1999 年から増加し、2007 年には最大の 2,263 トンが漁獲された。
- ・ 2007 年以降の漁獲量は各漁場とも減少している。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は漁場ごとに 1995 年以降の 1 日 1 隻あたり漁獲量 (CPUE) で判断した。
- ・ 2014 年の資源水準は各漁場とも低位、最近 5 年間の動向は銚子沖では減少、勝浦沖では横ばい、東京湾口では増加である。
- ・ 東京湾口漁場における最近 5 年間の CPUE の増加の要因としては、近年若齢魚の漁獲量が増加していること以外にも、水揚優良船の影響を受けている可能性がある\*。



銚子沖、勝浦沖、東京湾口漁場における 1 日 1 隻あたり漁獲量の経年変化

\*東京湾口漁場では漁獲量の低迷、漁業者の高齢化等により出漁が控えられている。水揚優良船が好漁になると他船も出漁するようになってきており、結果として効率の良い操業になっていることから CPUE が増加している可能性がある。

## 資源管理の取り組み

- ・ 漁場ごとに小型魚の再放流（銚子沖・勝浦沖全長 25 cm 以下、東京湾口全長 22 cm 以下）、針数・縄数の制限、休漁日の設定など漁業者により自主的な資源管理が行われている。